

## 四日市大学成長スケール実施報告書

## —2016年度入学生の地域志向科目と成長指標5の関連—

## I. 地域志向科目の履修と四日市大学生成長スケールの実施時点

2016年度前期	2016年9月	2016年度後期	2017年3月
地域志向科目 開講	四日市大学 成長スケール実施 1回目	地域志向科目 開講	四日市大学 成長スケール実施 2回目
四日市学（李 修二）	【成長指標5】 地域への関心と取り 組み	地域社会の歴史 （岡 佑哉）	【成長指標5】 地域への関心と取り 組み

【成長指標5】地域への関心と取り組み：地域に関心を持ち、地域での活動に取り組む人間

Step 1	Step 2	Step 3	Step 4	あてはまらない
これから心がけて取り 組んでいきたいと思う。	自分が生活している <u>地域に、関心を持つ</u> <u>ことの大切さを理解</u> <u>している。</u>	地域の現状と課題に ついて知るために、 <u>地域についての学び</u> <u>の機会に参加してい</u> <u>る。</u>	学内・学外の人々と 協力しながら、 <u>地域</u> <u>の問題解決、地域貢</u> <u>献のプロジェクトに</u> <u>積極的に取り組んで</u> <u>いる。</u>	どれにもあては まらない。 質問の意味が分 からない。

## II. 地域志向科目の単位取得者における四日市大学成長スケールの推移

以下の2条件をともに満たす学生30名（単位取得者）を分析の対象とした。

- ①2016年度前期・後期いずれかに地域志向科目の単位を取得している学生
- ②2016年度に2回実施された四日市大学成長スケールにおいて、調査票・面談両方に、参加している学生

## 1. 評価尺度別

表1-1 【成長指標5】の推移(評価尺度別)

評価尺度	2016年9月	割合	2017年3月	割合
Step 1	6	20.0%	4	13.3%
Step 2	13	43.3%	15	50.0%
Step 3	3	10.0%	5	16.7%
Step 4	5	16.7%	6	20.0%
あてはまらない	2	6.7%	0	0.0%
空欄	1	3.3%	0	0.0%
合計	30	100.0%	30	100.0%

## 2. 様態別

表1-2 【成長指標5】の推移(様態別)

2016年9月→2017年3月	人数	割合
Stepの上昇	9	30.0%
Step 4の維持	3	10.0%
Step 3の維持	1	3.3%
Step 2の維持	7	23.3%
Step 1の維持	3	10.0%
Stepの下降	4	13.3%
その他(空欄・その他からの移行)	3	10.0%
合計	30	100.0%

地域志向科目の単位取得は、成長指標 5 の評価尺度を、維持もしくは上昇させる傾向がある可能性がある。

## Ⅲ. 地域志向科目の単位取得者・非取得者における四日市大学成長スケールの比較

2017年3月に実施された四日市大学成長スケール2回目において、調査票・面談ともに参加した学生を、以下の2群に分けて、成長指標5の分布を比較した。

- ①2016年度前期・後期いずれかに地域志向科目の単位を取得した学生(単位取得者)
- ②2016年度前期・後期いずれでも地域志向科目の単位を取得しなかった学生(非取得者)

表2-1 地域志向科目の単位取得者・非取得者における【成長指標5】

評価尺度	単位取得者	割合	非取得者	割合
Step 1	4	13.3%	45	30.2%
Step 2	15	50.0%	70	47.0%
Step 3	5	16.7%	23	15.4%
Step 4	6	20.0%	11	7.4%
合計	30	100.0%	149	100.0%

注)2017年3月実施時点。分析ではStep 1, Step 2, Step 3, Step 4の評価尺度を対象とした。

表2-2 地域志向科目の単位取得者・非取得者における【成長指標5】の順位和

単位取得	人数 <sup>1</sup>	順位和	<i>W</i>
単位取得者	30	2407	1686.5*
非取得者	149	8443	

注1) 分析ではStep 1, Step 2, Step 3, Step 4の評価尺度を対象とした。

注2) \* $p < .05$

単位取得者・非取得者それぞれについて、成長指標 5 における順位和を算出した。Wilcoxon の順位和検定を行ったところ、5%水準の有意差が見られた。ここから単位取得者における成長指標 5 の評価尺度の分布は、非取得者よりも高い評価尺度になることが示された。